平高新聞

第９号
発行：長崎県立平戸高等学校教務部
平成２６年１２月２４日

校長室から

本物を見る

校長　　久家　彰夫

１２月９日朝、２年修学旅行団が出発しました。東京修学旅行の意義は、「本物を見る」「主体的な研修」そして「夢の国の体験」であると考えています。

初めての飛行機に興奮し、雷門をくぐって浅草寺の広さに驚き、劇団四季の「リトルマーメイド」鑑賞では舞台や衣装の美しさ、プロの歌声や踊りに魅了されました。日本の政治の中枢である国会議事堂の荘厳さに圧倒され、日本の技術の粋を集めたスカイツリーの展望台から東京を感じて、金色の秋のエレベーターに乗れた幸運を喜びました。

班別自主研修では、地下鉄の駅の出口の多さにとまどい、乗り換えに苦労し、スクランブル交差点で人とぶつかりながらこれが普通なのかと納得する。逆方向のバスに乗ってあわて、分からないときは人に聞くという解決法を見いだし、仲間と協力してホテルに戻れた達成感を味わいました。

そして系列別の研修を終えてたどり着いた夢の国ディズニーランド。心配していた雨も止んで、アトラクションやショッピングを楽しみ、夜のすてきなパレードに感激する。ゴミ一つないパークを演出する笑顔のキャストにおもてなしの心を学びました。

生徒の感想からは、こんな光景が浮かんできます。

体験学習の重要性が言われていますが、修学旅行はその最たるものです。「百聞は一見に如かず」の語のとおり、そこに行かないと本物の迫力は伝わりません。

高校時代は、さまざまな体験が大きな影響を与え、価値観や好みが形成されていく時期だと言われます。若い時の経験が人生の選択肢を増やすことにつながっていくのです。

「東京には、また行きたい。でも、住むところではないと思った。」

４日間の密度の濃い体験が生徒の視野を大きく広げ、将来に生かされると信じています。

上級学校訪問

「産業社会と人間」の授業の一環として、１年生が１２月１１日（木）に上級学校訪問を実施しました。訪問先は、『九州文化学園調理師専修学校』『九州文化学園歯科衛生士学院』『長崎短期大学』『長崎県立大学』の４校でした。高校にはない施設や設備に触れたり、先生や在校生の方から話をうかがったりし、生徒にとってはたいへん貴重な体験となりました。今回の訪問を進路選択の参考にしてほしいと思います。

修　学　旅　行

2年生は12月9日（火）から3泊4日の日程で、東京方面への修学旅行へ行きました。1日目の劇団四季ミュージカル「リトルマーメイド」では、圧倒的な迫力の歌声、実際に海の中にいるかのような動きなど、本物のステージに感動の連続でした。2日目は東京スカイツリーから都会の景色を眼下に眺め、東京都内を班別に行動する自主研修を実施しました。行き先に計画どおりたどり着かないこともありましたが、全員が無事に研修を終えました。3日目は3つの系列別に研修を行った後は、楽しみにしていた東京ディズニーランドで過ごしました。シンデレラ城のプロジェクションマッピングや夜のパレードまで楽しめ、夢の国にいるかのような1日を過ごしました。

1日目	浅草散策　ミュージカル「リトルマーメイド」
2日目	国会議事堂（参議院）　東京スカイツリー　東京都内班別自主研修
3日目	系列別研修　人文メディカル系列：国立科学博物館　早稲田大学 情報ビジネス系列　：東京証券取引所　慶應義塾大学　お台場 福祉生活系列　：青山学院大学　ＮＨＫスタジオパーク　ユニセフ 東京ディズニーランド
4日目	皇居散策

PTA研修旅行

12月6日(土)　PTA研修旅行が行われました。研修先の長崎国際大学（佐世保市）では、施設見学や茶道体験などが行われ、味の素九州事業所（佐賀県）では、施設内を巡り、味の素の製造工程や歴史を知ることができました。また、昼食はホテルオークラJRハウステンボスでのバイキングでした。日頃はあまり入ることのない場所を訪問し、新たな発見をすることができました。移動中のバス車内でも会話が弾み、たいへん充実した一日となりました。

1月の主な行事

8日	（木）	第3学期始業式
16日	（金）	漢字検定
		親と子のお料理教室
18日	（日）	全商情報処理検定試験
21日	（水）	お魚教室
23日	（金）	ジョブガイダンス（1年）
25日	（日）	全商簿記実務検定試験
27日	（火）	学年末考査（3年）　～30日